

「三」ス専修

【専修大学】ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部590円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 4 国際交流会館が神奈川建築コンクールで優秀賞に……
- 5 Uターン就職促進に関する協定を栃木県と締結……
- 6 経済学部ゼミ連合会が関東最大級の学術発表会を運営……
- 7 中村さん(法4) 駅ホームから転落の男性を救助し褒章……
- 8 津波で犠牲になったOBのご両親が神田で講演……
- 9 石巻専修大学「宮城県女子駅伝」初優勝……
- 10



出願受付スタート!

2016年 1/5(火)~

- ◆大学入試センター試験利用 前期入学試験
- ◆スカラシップ・全国入学試験
- ◆一般前期入学試験

※出願締切日は入学試験制度により異なります。

2016年度入試から WEB出願スタート!

詳細は入学試験要項、HPでご確認ください。
http://www.senshu-u.ac.jp

専修大学入試 検索

入学センターインフォメーション
【神田キャンパス】TEL03-3265-6677
【生田キャンパス】TEL044-911-0794

公開講座やシンポジウム、講演会

学びの季節 多彩に



▲国際交流特別講演会で講演する米サスケハナ大のJ・マン教授=10月17日、国際交流会館

大学の学術資源である知的財産情報を社会や地域に伝える「知の発信」は、専修大学の使命の一つ。専修大学ではこの秋も公開講座やシンポジウム、講演会を精力的に開催し、市民や学生に向けて、「社会知性」の扉をいくつも開いた。

社会知性開発研究センター、人文科学研究所、大学院、スポーツ研究所などの取り組みを紹介する2、3、4面に記事。



▶アベノミクスの成果を検証した大学院公開講座「エコノミックリサーチで経済を斬る」=11月6日、神田キャンパス



▶パリンピックをテーマにしたスポーツ研究所シンポジウムには大勢の学生が詰め掛けた=11月11日、生田キャンパス

平和と戦争 若者に問う

戦後70年記念企画展「専修大学と学徒出陣」

戦時下の専修大学の様子と学徒出陣した学生らの足跡をたどる戦後70年記念企画展「専修大学と学徒出陣」が11月6日から12月5日まで、生田キャンパス9号館で開催された。当時の写真や出征した学生の所持品などを展示。実際に戦地に赴いた校友の証言も映像で紹介し、若い世代に平和と戦争について問いかけた。

1943(昭和18)年、戦局の悪化に伴い20歳以上の学生は入隊を義務付けられた。いわゆる「学徒出陣」で、社会科学系の専修大学ではほとんどの学生が出征の対象となった。その数は3200人以上とされる。

企画展を訪れた92歳の清吉さんは、43年、学徒出陣で陸軍に入営。飛行機乗りになった。



▲学徒出陣展で戦争体験を振り返る中村さん

企画展では軍事教練や、「報国隊」が組織された学内が軍事色に染まっていた様子、学徒出陣、戦後の再興の様子などを追って紹介。戦中の日記や特攻隊員の遺言状、当時の腕章や書類など約100点を展示した。

校友・中村清吉さん「否も応もなかった時代」

今回の企画展にあわせ、大学史料課は校友にアンケートや聞き取り調査を行った。そのうちの一人、中村清吉さん(昭19専政経、東京都江戸川区)が長男の圭一さん(昭53経営)とともに企画展を訪れた。

清吉さんの体験を伝えたいと専大に連絡し、聞き取りが始まった。

中村さん父子は11月25日、生田キャンパスを訪れ、清吉さんは学徒出陣壮行会の資料などを一つ一つ見ながら、当時の学生生活や軍隊での様子を語った。「否も応もなかった。やれと言われたら、自分の意思とは関係なくやらなくてはならない、そんな時代だった」と振り返り、「戦争だけと専修1月号に掲載します。

公認会計士 過去最多 学生11人合格

金融庁公認会計士・監査審査会は11月13日、2015年の公認会計士試験の結果を発表した。本

学からは在校生が過去最多の11人、卒業生が7人合格した。合格率は10.2%。

今年度の全体の合格者は1030人、合格率は10.2%。

合格者の詳細はニュー



ギター同好会初出演

多摩区3大学コンサート

川崎市多摩区にキャンパスがある専修、明治、日サールによる「2015多摩区3大学音楽系学コンサート」が28日、川崎市多摩市民館ホールで開催された。本学からはギター同好会が初出演し、420人の聴衆を前に「リベルタンゴ」を熱演し、会場を沸かせた。光一代表(ネット情報3)は「幅広い年齢層の方に聞いていただくことを意識して選曲しました。満足いく演奏ができました」と話した。

今年、3大学と川崎市が協定を締結し、多摩区3大学連携協議会が設立されて10周年になる。会場ではこれまでの活動を紹介します。総合同好会が初出演し、420人の聴衆を前に「リベルタンゴ」を熱演し、会場を沸かせた。光一代表(ネット情報3)は「幅広い年齢層の方に聞いていただくことを意識して選曲しました。満足いく演奏ができました」と話した。

「否も応もなかった時代」

柿坂結花さん(ネット情報2)は、44年ごろには勤労動員で授業が行われなくなった様子を知り、「今私たちが勉強できるのって幸せなことなのか」とぼつり。一緒に見ていた鈴木玖美子さん(同)と若林里歩さん(同)は「専大の歴史のなかで、学徒出陣や軍事教練などがあったことを初めて詳しく知った。今まで他人事だったけど、自分がこの時代に生きていたらどうだっただろう」と顔を合わせた。

企画展で多数展示された日記には、出征する学生の友人や知人が寄せ書きしている。このうち戦死したとされる武内健一さん(昭17法)の日記は、武内さんの戦友の岸政吉氏が所蔵、その後岸氏の甥が譲り受け保管していた。「遺族の元に返したい」と長らく探していたが手掛かりはなかった。専修大学編、専修大学出版局刊、596頁、980円+税。情報提供は大学史料課☎03・3265・5879

「清吉さんの証言や展覧会」

「リベルタンゴ」を熱演し、会場を沸かせた。光一代表(ネット情報3)は「幅広い年齢層の方に聞いていただくことを意識して選曲しました。満足いく演奏ができました」と話した。